



瀬戸小だより

ふれ合う 認め合う 共に学ぶ 笑顔あふれる瀬戸ヶ谷小学校

mail:y3setoga@edu.city.yokohama.jp

学校だより 12月号
令和4年11月30日
横浜市立瀬戸ヶ谷小学校
校長 松永 淳子
TEL 713-8336 FAX 713-9749

瀬戸ヶ谷小学校

検索

2022年を振り返って

校長 松永 淳子

ポインセチアの花が街を彩る頃となり、2022年のカレンダーも残すところ一枚となりました。

今年を振り返ってみるとコロナ禍3年目ではありましたが、感染対策を講じたうえで、学校の活動が少しずつ元に戻りつつある年だったと感じています。そして、子どもたちの笑顔をマスク越しではありましたが、様々な場面で見る事が出来ました。

スポーツフェスティバルでは、応援団の元気な活躍と共に、一人ひとりが全力で走ったり踊ったり何より友達と共に取り組む姿がチームで行う競技の楽しさを物語っていました。

水泳学習では、水しぶきと共に真剣な眼差しで、水中歩きやバタ足、クロールなどの泳ぎに取り組んでいました。学習後の教室をのぞくと疲れたのか無口な子どもたちの様子が見て取れました。

初めての遠足、初めての観光バス、初めての宿泊学習、初めて尽くしの校外学習では朝から嬉しそうな子どもたちの表情をたくさん見かけました。校外の景色や空気に満たされた時間でした。

表現週間では、ここまで行った学習を基に表現の仕方を駆使して学級ごとに発表しました。見ていただく人のことを考えながら練習した成果は見事でした。

そして、様々な時間に学習の道具として活躍したものは、端末でした。子どもたちが「あっ」という間に使いこなしている姿に吸収力の速さを感じました。

また、人との繋がりも広がりました。読み聞かせやミシンボランティアの方々とふれ合う機会がありました。保土ヶ谷区合同の遠足、音楽会など、他校の友達と交流することもできました。刺激を受けたり、与えたり活動を共有できることは学びの広がりにつながりました。

やはり、実際に「見る、聞く、触る、作る、話し合う、運動する」などの体験や経験は子どもたちにとって興味・関心などの好奇心を大きく開花するきっかけとなり、自主性や主体性に繋がるのだということを改めて感じました。そして子どもたちの頑張りから、たくさんの感動のシーンを見ることができた2022年でした。2023年も、創意工夫を忘れず、子どもたちにとって輝かしい成長の年となるよう努めて参りたいと思います。

コロナウイルス感染が拡大しておりますが、本校では、休校・学級閉鎖もなく本日まで過ごすことができしております。これもひとえに保護者の皆様のご協力のおかげと深く感謝いたしております。少し早いご挨拶となりますが、健康に留意されよい年をお迎えください。そして、新年1月10日、元気な子どもたちに会えるのを楽しみに致しております。